

令和8年度 北海道中学校体育大会 サッカー大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の17時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技の基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【サッカー大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

ともに別紙参照

令和 8 年度 北海道中学校体育大会 北海道中学校サッカー大会 における熱中症等対策について

- ◇ 監督会議の際に熱中症対策についてアナウンスする。
- ◇ 会場本部に運営者用・緊急時用の冷却用氷・スポーツドリンク・経口補水液を用意する。
- ◇ 各チームに試合ごとに氷を提供する。
- ◇ 観戦者のために、飲料を購入できる環境(売店や自動販売機)を整える。
- ◇ 熱中症対応が可能な緊急病院を案内できるよう準備する。
- ◇ WBGT の値に応じて、飲水タイム・クーリングブレイクの設定をする。
飲水タイム…前・後半の途中(20 分程度経過時)に水分補給のための時間を設ける(1分程度)
クーリングブレイク…前・後半の途中(20 分程度経過時)に日陰での休息のための時間を設ける(3分程度)
決勝戦については飲水タイム・クーリングブレイク等を前後半それぞれで2回とることも検討する
(クーリングブレイク2回の場合、10分・23分程度経過時に3分程度)
- ◇ 選手の再出場を認め、出場選手への過度な負担を和らげ、体調に異変がある場合のチームでの確認をしやすい環境をつくる。
- ◇ ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
- ◇ 緊急時には、隣接施設にて対応を行う
- ◇ 会場ごとに WBGT 計を110cm の高さに設置し、1試合につき3回の計測を実施する。
 - ①マッチミーティング時に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT… 延期し、対策を検討する
28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定
25≦WBGT<28… 飲水タイム設定
 - ②試合開始 10 分前に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT… 延期し、対策を検討する
28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定 ⇒ 前半開始
25≦WBGT<28… 飲水タイム設定 ⇒ 前半開始
 - ③ハーフタイムに計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT… 前半で試合終了(前半終了時で試合成立)
同点の場合、PK方式にて次回戦進出チームを決定
28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定 ⇒ 後半開始
25≦WBGT<28… 飲水タイム設定 ⇒ 後半開始
- ◇ 大会期間中に全ての試合ができない場合、
 - ・残された試合が決勝戦のみ… 両校優勝とする
 - ・一回戦～準決勝… 抽選を行う

抽選を行う場合、予備抽選をして抽選順を決め、本抽選を行う。
予備抽選は本部からグラウンドに向かって左側ベンチのチームから先に引く。
- ◇ 延期・試合未消化などの場合の対処については、落雷等の場合にも同様のものとする。